

地域から育もう 未来ある青少年

待ってるよ 君のただいま 明るい笑顔

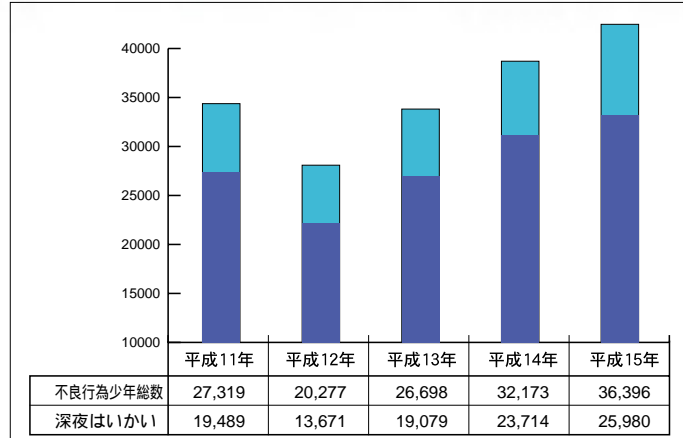
年を追うごとに深刻化している少年犯罪。特に本県では夜型社会の構造もあり、青少年の深夜はいかいが目立って増加傾向にあります。
その現状と、県・市町村が行っている取り組みを紹介します。

不良行為の約七割は深夜はいかい

近年、全国的に、少年犯罪の増加が目立っています。飲酒、喫煙や深夜はいかい等の不良行為で補導される青少年の数も増加傾向にあります。本県でも、平成十五年、復帰後最

高の三万六千人余りの青少年が補導されました。
うち、深夜における補導は全体の七割と全国平均の約二倍に達しており、深夜はいかいは本県の青少年非行の大きな特徴となっています。

不良行為少年の深夜はいかい補導状況



不良行為とは、深夜はいかい、飲酒、喫煙などの行為をいいます

求められる 地域社会の協力

青少年の不良行為の多くは深夜に発生しており、その防止のためには家庭、学校、地域社会が一体となって深夜はいかいを無くしていくことが重要です。
本県では、青少年の深夜はいかい防止のため、「深夜はいかい防止県民一斉行動」を行っています。
去る六月三十日、パレットくもじ前広場にて、「青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動」の出発式を行いました。

参加者みんなで、「地域から育もう未来ある青少年」をテーマに、青少年の健全育成を取り組んでいくことを確認した後、通行人にチラシ等を配布して深夜はいかいの防止を呼びかけました。



通行人に深夜はいかいの防止を呼びかける稲嶺知事

市町村における 取り組み

7月、各市町村において「青少年の深夜はいかい防止県民一斉運動」が行われました。
皆さんも、地域で自分のできることから取り組んでいきましょう。

住民大会・街頭パレードの実施

七月、各市町村において、「青少年の深夜はいかい防止県民一斉運動」の住民大会や街頭パレードが実施されました。夏休み前に、多くの住民が参加して青少年の健全育成に取り組みました。



毎月第三金曜日は「少年を守る日」

すべての県民が、手をたずさえて次代を担う青少年の健全に育成するため、毎月第三金曜日を「少年を守る日」と定めています。
去る七月十六日(金)の「少年を守る日」には、多くの市町村で夜間街頭指導を実施し、非行防止活動を推進しました。

参加者の声

『ゲームセンターで保護者が少年(幼い子どももいた)を連れて一緒にゲームをしていた』
『自分が食事や買い物に行っている間、お金を持たせて子どもだけでゲームセンターへ遊びに行かせている保護者がいた』



『深夜でも、ゲームセンターには大勢の青少年がゲームをしていた。ゲームセンターの従業員等は、積極的に声をかけて注意してほしい』



『沖縄県の深夜はいかいは状況は、夜型社会という特徴が影響している』
『子どもを指導する前に、まず保護者の意識改革が必要』

『県民に対し「深夜はいかい防止」を周知徹底させるためには、マスコミの協力が不可欠である(広報啓発活動の徹底)』
『青少年深夜はいかいは実態を把握するためには、午前零時以降の街頭指導が必要』

作文、標語、 ポスターの募集

この運動を通して、「家族のきずな」や「深夜はいかい」について、新たな運動の輪を広げるために、作文、標語、ポスターを紹介しています。
平成十五年度は、作文の部で、上原崇由さん(具志川商業高校)の「深夜はいかいについて」、標語の部で、城間絵梨香さん(石川高校)の「待ってるよ 君のただいま 明るい笑顔」、ポスターの部で、仲程勝哉さん(あげな中)が沖縄県知事賞に輝いています。



まとめ

本県では、平成七年度から「青少年深夜はいかい防止県民一斉運動」を展開し、夜間街頭指導等を行ってきました。しかし、依然として、青少年の深夜はいかいは問題行動は減少していません。

未来ある青少年のために、今後も、家庭、学校、地域社会等が一体となって取り組んでいきましょう。